

授業科目名	基礎ゼミナールⅠ (アーリーイクスポージャー)	担当教員	◎渡邊八重子、○下陸子、 吉川一枝、休波茂子、川上裕子、 兼子裕美、岩谷香
必修	開講年次：1年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

基礎ゼミナールⅠでは、Early Exposureとして、医療機関を見学することによって医療機関の全体像を把握する。医療施設の各部署を回り、臨床現場を観察することで病院の機能や役割について考える。また、看護師に同伴し、その仕事を見学し、患者の生活や環境、看護の役割について考える。Early Exposure担当指導者は自己の研究領域に関連した部署に学生グループを案内・説明し、演習の機会を持つ。

【授業目的・目標】

1. 医療機関を見学することによって医療機関の全体像を把握する。
2. 患者の入院から退院までのプロセスを辿る。
3. 看護師の仕事を見学することでその役割について考える。
4. Early Exposure(病院・病棟見学)の体験を通して得たことをゼミナールの中で言語化し、討議する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

[01] 全体オリエンテーション 講義①授業への姿勢 グループごとオリエンテーション	(全担当教員)
[02] 講義②グループワーク学習の方法	(全担当教員)
[03] 講義③情報集(文献収集)の方法	(全担当教員)
[04] 講義④レポートの記載方法 講義⑤プレゼンテーションの方法	(全担当教員)
[05] 講義⑥病院の機能と役割	(全担当教員)
[06] グループごと演習①訪問視察の準備 訪問視察場所の希望調査	(全担当教員)
[07] グループごと演習②訪問視察の準備 視察場所に関わる個々の関心あるテーマについて調べ発表する (情報収集、情報の読み込み・整理、考察、まとめ、発表)	(全担当教員)
[08] グループごと演習③訪問視察の準備 グループとしての視察テーマと目的を明確にする 目的達成に向けた質問内容を作成する	(全担当教員)
[09] グループごと演習④訪問視察	(全担当教員)
[10] グループごと演習⑤訪問視察	(全担当教員)
[11] グループごと演習⑥訪問視察 情報整理、考察	(全担当教員)
[12] グループごと演習⑦訪問視察 まとめ	(全担当教員)
[13] グループごと演習⑧全体発表準備	(全担当教員)
[14] 全体発表	(全担当教員)
[15] 全体発表	(全担当教員)

【教科書】

(教科書A) 佐藤望編著 アカデミック・スキルズ第2版 慶応義塾大学出版会
(教科書B) 新井和広・板倉杏介著 アカデミックスキルズ グループ学習入門 慶応義塾大学出版会

【参考書】

後日提示する

【評価方法・評価基準】

授業・演習の参加状況(25%) プレゼンテーション(25%) レポート(50%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：高校生と大学生の学び方の違いについて考え、自身のこうありたい学びの姿勢や態度について想起しておくこと。

事後学習：講義・演習、病院訪問視察を通して学んだ知識、技術、態度について振り返り、これからの講義、演習、実習、研究へ活用していけるように整理しておくこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅱ. 質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは適時に傾向について示しフィードバックする。グループ内討議や発表会は実施後に教員からフィードバックを行う。

発表会の実施の後には、教員からの講評の時間を設ける

【備考】

基礎ゼミナールⅠ(アーリーイクスポージャー)の学修は、これから大学でより良い学びをしていくための基盤(土台)となるため、主体的・積極的に取り組むこと。